



報道関係者各位

2020年9月23日

スペースデブリ問題に取り組むアストロスケール
ネテックスプロ (Netexplo) から
「最も優れた10のイノベーション」グランプリを受賞

持続可能な宇宙環境を目指し、スペースデブリ（以下、宇宙ごみ、デブリ）除去サービスに取り組む、株式会社アストロスケールホールディングス（本社：日本、創業者兼CEO：岡田 光信、以下「アストロスケール」）は、ネテックスプロ (Netexplo) が 2,000 を超えるプロジェクトの中から、卓越した技術に贈る「最も優れた10のイノベーション企業」の一つに選ばれ、投票の結果グランプリを受賞したことをお知らせします。

日本時間9月22日（火）にフランス パリで開催された、イノベーションフォーラム 2020 のライブ中継では、最終ノミネート企業の中からアストロスケールのグランプリ受賞の様子が放送されました。ネテックスプロは、社会とビジネスへのデジタル技術の影響を研究する独立組織で、2011年からユネスコのパートナーとして活動しています。尚、日本企業のグランプリ受賞は初めてのことです。

アストロスケール創業者兼CEOの岡田光信は、以下のように述べています。

「ネテックスプロ 2020 グランプリの受賞を大変光栄に思います。スペースデブリという世界でも最も複雑な社会課題に対して、技術、ビジネスモデル、法規制に取り組むチームの皆と共に受賞の喜びを分かち合いたいと思います。現在、新型コロナウイルスの拡大感染の猛威をはじめ、新たな環境問題が世界中に混乱をもたらしています。そして、社会インフラとして重要な地球の軌道上で、何が起きているのかに高い関心が集まっています。私たちは、スペースデブリという新しい社会課題が手遅れになる前に、今後も全力で取り組んで参ります。」

近年の低軌道（LEO）における衛星コンステレーションの勃興は、軌道上での衝突や破砕の加速度的な発生を示唆しています。デブリの増加により、今後の衛星ミッションのみならず、宇宙からのサービスやデータに依存する我々の社会をも危機に晒すと言われていています。2020年度に打ち上げを予定するデブリ除去の為の実証実験衛星「ELSA-d（エルサディー）」は、人工衛星が寿命を迎えたり恒久故障の際に、軌道上から宇宙機の除去（EOL^{※1}サービス）を行うミッションで、今後低軌道の環境を保全する重要なサービスとなるでしょう。

アストロスケールは、2013年に創業以来、世界に先駆けデブリの低減・除去策として、軌道上サービスの実現を目指し、EOLサービスや、既存デブリ除去（ADR^{※2}サービス）の技術開発を進めており、2020年にはシリーズE、静止軌道（GEO）での衛星寿命延長（LEX^{※3}）サービスの開始を発表しました。また、長期に渡り安全で持続可能な宇宙環境を目指す為、技術開発に加え、ビジネスモデルの確立、複数の民間企業や団体、行政機関と協働し、規範やベストプラクティスの策定に努めています。

※1 EOL: End-of-Life の略称

※2 ADR : Active Debris Removal の略称

※3 LEX : Life Extension の略称

アストロスケールについて

アストロスケールは、宇宙機の安全航行の確保を目指し、次世代へ持続可能な軌道を継承する為、スペースデブリ（宇宙ごみ）除去サービスの開発に取り組む世界初の民間企業です。2013年の創業以来、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、今後打ち上がる人工衛星が寿命を迎えたり恒久故障の際に除去を行う EOL^{※1} サービスや、既存デブリを除去する為の ADR^{※2} サービス、延命措置や宇宙空間上での宇宙状況把握（SSA^{※4}）、軌道上サービスの実現を目指し技術開発を進めてきました。

本社・R&D 拠点の日本をはじめ、シンガポール、英国、米国、イスラエルとグローバルに事業を展開しています。初のデブリ除去実証実験「ELSA-d」の打上げは2020年度を予定しています。

アストロスケール本社ウェブサイトはこちら：<http://astroscale.com>

製造・開発の様子（写真）はこちら：https://bit.ly/Astroscale_pictures

【本件に対する報道関係者からのお問い合わせ先】

アストロスケール 広報

Eメール：media@astroscale.com

電話番号：

03-6658-8175（日本） | +44-1235-395-359（英国） | +1-202-744-8127（米国）

^{※4} SSA: Space Situational Awareness の略称